

ノリ海況速報 第2報 (2023-2)

令和5年10月12日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 (ふさなみ) 10/2 内湾, 10/3 内房

【水温・塩分の状況】

- 表層水温は湾奥が26.0~26.1°C, 盤洲周辺が25.2~25.6°C, 富津周辺が24.1~24.8°Cでした。表層塩分は湾奥が27.7~28.1, 盤洲周辺が29.8~30.4, 富津周辺が31.4~32.7でした(図1)。
- 内湾及び内房北部海域では水温が最近10年間の平均値より2~3°C高くなっていました。内湾では表層と底層の水温差が1~4°C程度になっており, 鉛直混合が進みやすくなってきています。
- 沖合水(高水温, 高塩分)については, ノリ漁場への波及はみられませんでした(図1, 2)。

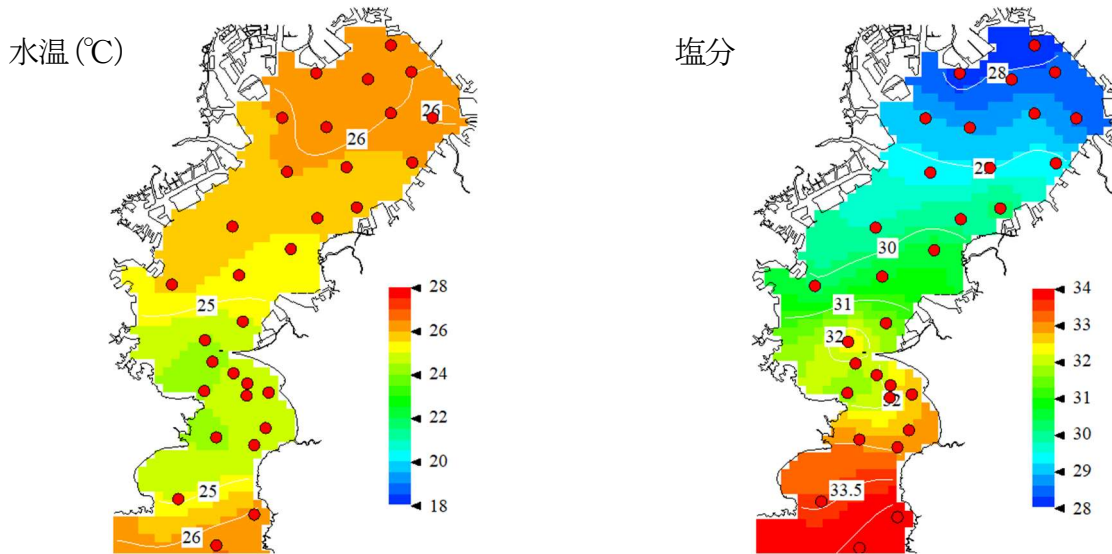


図1 表層の水温・塩分

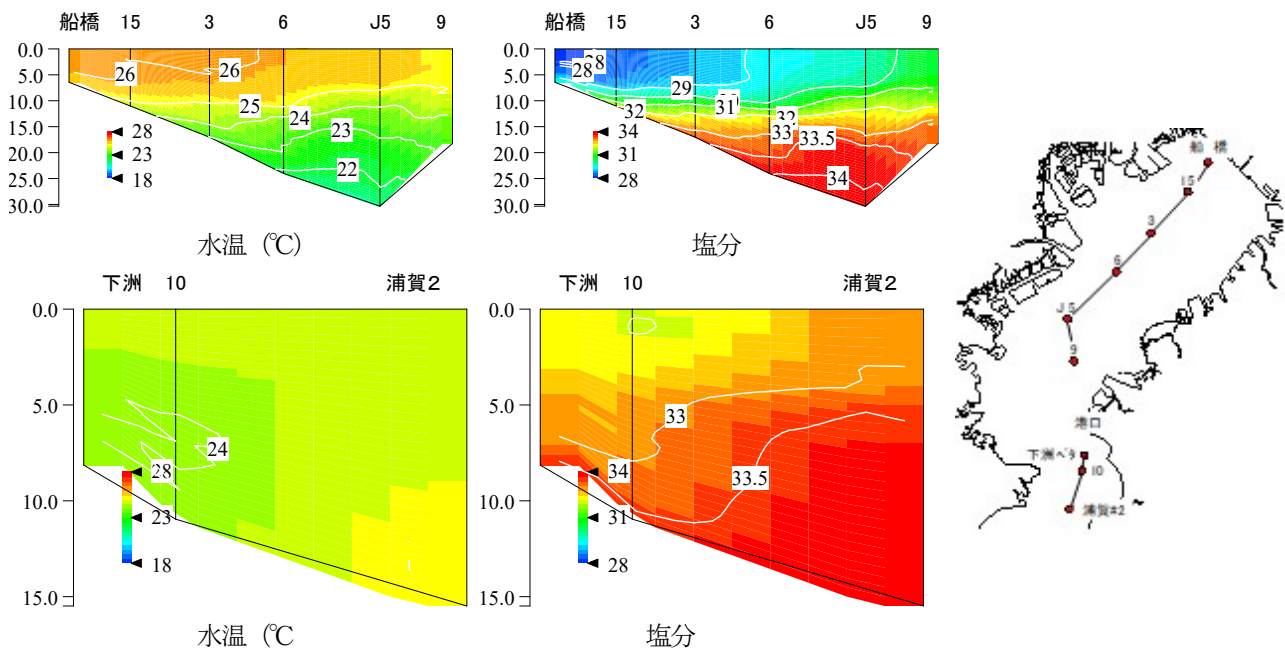


図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布 (上: 内湾, 下: 内房北部, 右: 調査ライン)

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- ・ 赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は珪藻タラシオシラ属、タラシオネマ属などでした。透明度は2.0～6.0 m でした。
- ・ 栄養塩は窒素が内湾北部で190～240 μg/L、盤洲周辺が160～180 μg/L、富津周辺が52～150 μg/L、リンが内湾北部で22～32 μg/L、盤洲周辺が33～38 μg/L、富津周辺が13～25 μg/L でした(図3)。
- ・ ノリ漁場の栄養塩はいずれの海域でも窒素、リンとものがノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを上回っていました。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上
 高色調のノリの生産に必要なレベル： 窒素 110 μg/L リン 8 μg/L
 ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：窒素 90 μg/L リン 5 μg/L

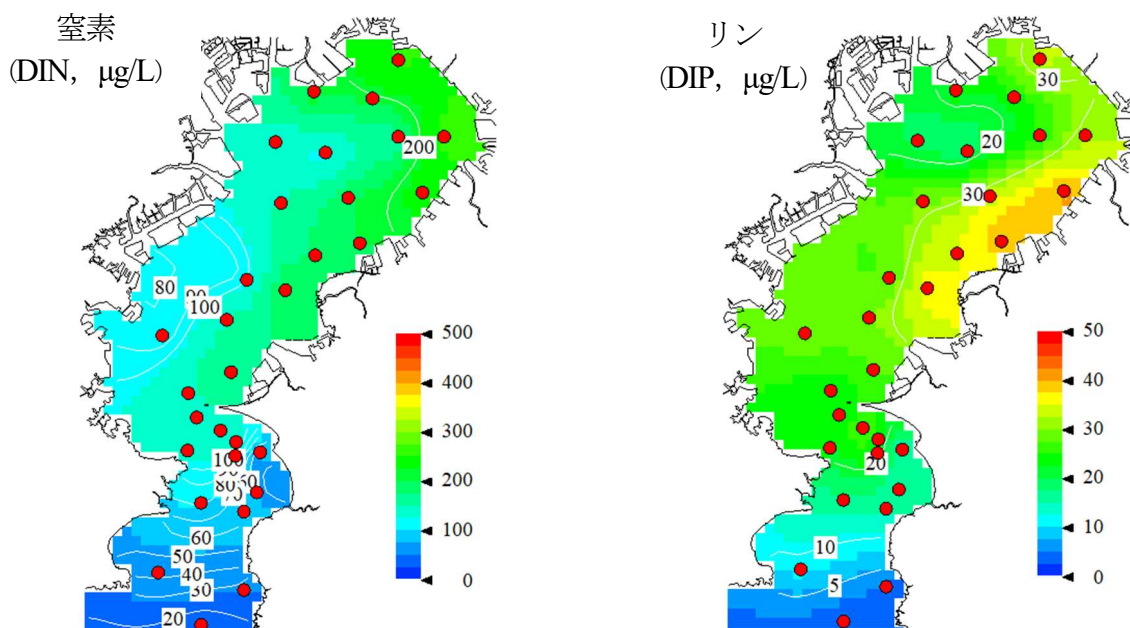


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場（三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南）について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生の目安（人工衛星画像）、各地の水温変化（モニタリングポスト）、沖合水の侵入の目安（潮位）、水温変化の目安（表層水温、底層水温分布）などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



パソコン： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html